

# 「殺生石」物語考

物語の考察③

この物語には、中国人やインド人日本人など、夥しい人物が登場する。その多くが歴史上に存在した人物である。今から三千年前の中国の「殷」や二千年前前の「周」の時代についてさえも、司馬遷は「史記」の中でその実在を記述している。例えば、紂王や妲己、幽王や褒姒、太公望等々である。ただインドの斑足太子については伝説的要素が多くその実在について曖昧である。物語が日本に移ってからの登場人物は、吉備真備や鳥羽天皇を始め、安倍泰親、三浦介義純、上総介広常など、多くが歴史上の人物である。

作者の時代考証は比較的正確である。が、鎌倉期の建長年間、室町期の玄翁和尚が登場させるなど、一部に不統一が見られる。

この物語の特徴は、作者が歴史上の事実と奇想天外のフィクションを重ね合わせていることにある。この手法が、この物語の虚実について読者を煙に巻き、エンターテイメントの世界

に惹き付けてやまない。

江戸時代には、高井蘭山の他に多数の著者がいたことは前述した。登場人物について異なった表記を見るのは、このためである。例えば、陰陽師について、高井蘭山は阿倍泰親と書き、「玉藻草子」や「絵本玉藻譚」の作者は阿倍泰成と書いている。物語がフィクションであることと思えば、これはどちらでも良いことである。ちなみに、この二人は父子であり、当時の社会的な存在感やステータスは、父の泰親が遙かに高い。

物語中の、下野国那須郡の領主那須宗重は、那須家系図には見当たらない。時代的には系図四代の須藤宗資あたりと愚考する。

九尾の妖狐の中国におけるモデルはそのまま、妲己、褒姒であるが、インドの華陽婦人については曖昧である。日本での玉藻前のモデルは、鳥羽天皇の寵妃であり、藤原璋子(待賢門院)と確執を持った才色兼備の女性、藤原得子(美福門院)と言われている。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

卒業は未来の扉

若人ら開きて明日は新たな世界

## かつこう

春を告げる梅が咲き始め、暖かくなるとやわらかな風を感じる今日この頃。昨年より15日ほど早く春一番も観測され、桜の開花も近そうだ。町の東部に位置する芦野・伊王野地区は桜の名所が数多くある。これからの季節、目新しい企画展を次々と打ち出す那須歴史探訪館と併せて散策に出かけてみるのも楽しそうだ。(高)

昨年引き続き開催されたプレゼンフェスティバル(20頁)。大勢の前で気後れすることなく、自分の言葉で堂々と発表した子どもたち。最後に、那須歴史探訪館の岡田館長が「輝く瞳と真剣な姿が頼もしく、未来を託せると実感でき、幸せな気分が胸がいっぱいになりました」と講評しました。出場した子どもたちも、さらにプレゼン力を高め、リーダーとして活躍する未来がとても楽しみです。(飯)

小・中学校で行われる「2分の1成人式」や「立志式」など節目の行事。2月12日に那須中央で行われた立志式(20頁)で子どもたちは、家族など周囲の人に感謝し、自分の将来について向き合う機会となり、保護者は子どもの成長を感じる機会となりました。この日、人生の節目の大切さを改めて実感し、自立に向けて立派に立志の誓いを述べた子どもたちに頼もしさを感じました。(米)

こんにちは

## 赤ちゃん



古森 さくや 咲哉くん (築瀬)

令和元年 6月20日生

父 翔哉さん 母 美里さん

咲哉くんが…

健康で笑顔が素敵な子に育ちますように

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(2月1日現在・住民基本台帳)  
( )の数字は前月比

・世帯数 10,346世帯 (-21)  
・人口 24,995人 (-58)  
男 12,434人(-20) 女 12,561人(-38)

## あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。